

## 学生からの意見等に対する対応等について

～令和元年度学長と学部新入生等との懇談会～

No.	事項	担当部局等名	意見等への対応状況
1	心理学コースでは、1年でとれる専門科目が前期後期1つずつしかなく、これは少ないのではないかと思います。せっかく入学時点から心理に興味を持った人たちが心理学コースに来ているので、1年のうちからもっとたくさんの専門科目をとれるようにしてほしい。	法文学部	履修登録単位数の制限があるため、全学的制度変更がない限り、共通教育や学部・学科の1年次必修等を取ると、これ以上の専門科目の履修は、実質的には難しいという現実があります。そのような制限はあるものの、心理学コースの教員は、共通教育に心理学の基礎知識がない学生を対象とした授業をいくつか立てておりますので、時間割の工夫次第でそれらを受講することは可能かと思えます。 また、心理学コースは、積み上げ方式のカリキュラムを取っています。基礎を修得しないまま高次学年に設定されている専門科目を受けても理解が難しいためです。加えて人文学科のカリキュラムが、専門に偏りすぎず、視野を広げて学際的なアプローチにも対応できる人材育成を意図していることや、4年間の履修計画を上手く立てれば、十分な数の専門科目を受講することが可能であることを踏まえて、履修登録単位数の制限の下で、基礎となる科目を可能な限り、必修として1年次に設定しているとご理解いただければと思います。
2	教員免許についての説明はよく聞かすが、公認心理師の資格についての説明が不十分なのではないかと思う。私自身大学院進学を考えており、その後公認心理師の資格をとりたいと思っていて、周囲にもそのような人が少なからずいるのでしっかり説明してほしい。	法文学部	1年前期の人文科学基礎Ⅰのキャリアレクチャーにおいて、公認心理師受験資格取得に必要な科目やその他の心理学関係の資格について大枠の説明を行いました。今後、後期の人文科学基礎Ⅱにおいて、より詳細な説明を行う予定です。
3	鹿児島大学の学生は卒業後、就職を考えている人が多いが、漠然とした将来設計のままで不安だと言う声も聞く。学科やコースごとに、就職している卒業生の話を聞ける機会を設けてほしい。そこで就職までの流れを聞いて今すべきことを各自考えるべきだと思う。	キャリア形成支援課	入学時に配布している、「キャリア形成支援センターリーフレット」に記載しているように、次のとおりの全学年対象のイベントを開催して、支援しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での開催が難しくなっているため、manabaでの動画オンデマンド配信やマイナビ等の就職支援会社のWEBセミナー開催も、学務WEBメールで周知するようにしているので、是非参加していただきたいです。 ○卒業生による就職・キャリア支援セミナー ※昨年度2回実施。文系学部・理系学部出身の卒業生(若手OB・OG)を招いての就職支援セミナーと、キャリアを積んだ卒業生によるキャリア支援セミナー「きばいやんせ鹿大生！」を毎年開催しています。 ○業界・職種研究セミナー(10月～2月随時開催) ※企業38社 ○学内業界研究フェア ※企業・官公庁148社・団体が参加し、昨年度は1・2年生123人の参加がありました。その他、キャリア教育として正課(授業科目)の「キャリアデザイン」前期・後期も開講しているので、受講していただきたいです。

## 学生からの意見等に対する対応等について

～令和元年度学長と学部新入生等との懇談会～

No.	事項	担当部局等名	意見等への対応状況
4	入学から半年間で様々なボランティアに参加し、地域の方とも話をする中でたくさんの刺激を受けたため、もっと地域との交流の機会があるとよい。	学生生活課 (ボランティアC) 社会連携課	<p>(学生生活課・ボランティアC) 様々なボランティアを知ってもらうために、ボランティア案内のメールを流す機会を増やし、HPIにもボランティア募集について随時掲載します。</p> <p>(社会連携課) 産学・地域共創センターでは、「進取の精神チャレンジプログラム(地方創生活動部門)」を毎年度実施しており、学生が企画・運営するプログラムに対して大学が支援を行っている。地方創生活動部門については、テーマを「まち・ひと・しごと創生」として、鹿児島県内自治体や企業など地域の方々と連携した取組みを募集しているので、是非チャレンジしていただきたい。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ中止することとなったが、今後の状況によっては実施の可能性あり。</p>
5	webで公開される教室一覧(共通教育科目)がもう少し見やすいとありがたい。例えば教室名「312」であれば最初の文字を見て共通教育棟3号館と分かるが、「common room2」や「第一端末室」などは、それだけではどの建物かが分からない。前期はまだ知り合いの先輩等も少なく、また全体の地図を見てもよく分からず、困ったため。	共通教育課	ご指摘のとおり、教室一覧は分かりづらい表示となっておりますので、建物名等を明記し、分かりやすい表示となるよう改善します。
6	「大学と地域」「初年時セミナー」など、複数のクラスがある授業においてクラスごとの負担や評価基準の偏りをなくして欲しい。	共通教育課	令和2年度から、「大学と地域」「初年次セミナー」の成績評価は、全クラス統一して行うことになりました。クラスごとの評価基準の偏りは解消されています。また、クラスごとの負担についても共通の課題を課していることから、平準化されていると考えます。 今後、授業改善に資するアンケート結果等を基にさらなる改善に向けて検討していく予定です。

## 学生からの意見等に対する対応等について

～令和元年度学長と学部新入生等との懇談会～

No.	事項	担当部局等名	意見等への対応状況
7	講義室などの空調を健康を害さない快適な温度設定にして欲しい。(特に夏場は灰が降ると窓を開けることもできないため)	共通教育課	<p>共通教育センターの空調は、基本的には教室毎に温度設定できるため、設定温度は担当教員に任されています。</p> <p>本学では節電のため、冷房は28℃、暖房は19℃を設定温度としています。そのことをご理解いただき、体調に影響があると考えられる場合は、担当教員にその旨申し出て設定温度を変更してもらってください。</p> <p>なお、令和2年度前期は、新型コロナウイルス感染症対応のため、講義室の窓は開けたまま、空調を入れています。</p>
8	海外留学、ボランティアなどのプログラムの増加。(グローバル化に伴い、海外の方々と同等に渡り合える学生の育成のため)	国際事業課	<p>2020年5月1日現在、鹿児島大学が学術交流協定を締結している海外の大学・研究機関数は、大学間では26カ国91機関、部局間では28カ国72機関であり、そのうち、協定校派遣留学と位置付けている入学料・授業料等不徴収で留学可能となる協定校は、大学間で81機関、部局間で42機関である。</p> <p>今後も引き続き、海外の大学・研究機関と更なる国際連携を目指していることから、協定校派遣留学が可能となる協定校数は増加することが見込まれ、これに伴い、学生の海外留学機会も更に増加している状況である。</p> <p>また、協定校派遣留学の他にも、鹿児島大学では、多様な海外研修・留学の機会を設けており、2018年6月に稲盛和夫基金により、英国の名門校ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL)に1～2名の修士課程又は博士課程の学生を1年間派遣する『鹿児島大学21世紀版薩摩藩英国留学生派遣事業「UCL稲盛留学生」』を設立している。さらに、地域との連携として、鹿児島県と協定を締結している清華大学(中国)、鹿児島市と姉妹都市関係であるパース市(豪州)との学生相互交流プログラムを実施しており、グローバルな視点を有する地域人材育成のための教育システムや教育環境の整備の充実に取り組んでいる。</p> <p>なお、上記以外にも、グローバルセンター学生海外派遣部門では、海外留学及び海外活動を希望する学生向けに、情報提供や教育・支援を行うとともに、学内において外国人留学生と日本人学生の交流を積極的に促すランチテーブルや多言語多文化交流の場 Global Language Spaceで留学生と学ぶ「グロスベ外国語」などの活動を企画・実施している。</p> <p>このように、グローバルセンターでは、様々な取組を行っているので、海外留学、海外研修などのプログラムに興味のある学生は、グローバルセンター学生海外派遣部門ホームページを確認するとともに、グローバルセンター、または学生部国際事業課へ気軽に相談に来ていただきたい。 (鹿児島大学グローバルセンター学生海外派遣部門HP) <a href="https://www.gic.kagoshima-u.ac.jp/sad/sad.html">https://www.gic.kagoshima-u.ac.jp/sad/sad.html</a></p>

## 学生からの意見等に対する対応等について

～令和元年度学長と学部新入生等との懇談会～

No.	事項	担当部局等名	意見等への対応状況
9	郡元キャンパスに比べ桜ヶ丘地区の体育館・武道場が老朽化していて高校の体育館よりひどい。先輩は、耐震性に問題があると言っていた。	施設部 医歯研学務課	(施設部) アメニティ環境の改善として、年次計画に基づき、全学的にトイレ改修を進めており、桜ヶ丘キャンパスの武道場トイレ改修は令和2年度に予定しています。併せて更衣室も改善予定です。  (医歯研) 武道場は、施設部にて年度内に内部の一部を改修工事予定(10月着工)である。 桜ヶ丘体育館の老朽化による破損は随時修繕している。老朽化による建て替えは、学内の他の施設と比べると耐用年数も未満であることから規模と費用面も含め早々の対応は難しい。
10	桜ヶ丘地区の部活動には部室がないし、シャワー室も壊れていて、とても大学とは思えない。	医歯研学務課	部屋の確保については、現在各所で建物改修が行われており、部屋の確保が困難である。体育館内の男子シャワー室は故障はしておらず現在も使用は可能である。女子更衣室及びシャワー室は、体育館使用サークルの部室化している現状である。
11	桜ヶ丘の体育館のコンセントが壊れていて修理してほしい。	医歯研学務課	修繕対応済み。
12	グラウンドも整地されておらず、グラウンドの一部やテニスコートが職員駐車場になっていて驚いた。	病院施設管理課	病院再開発工事等により、桜ヶ丘地区で複数個所の駐車場が工事用地となっており、駐車場不足となったことからグラウンドを臨時に駐車場にせざるを得なかったところです。再開発工事完了後、グラウンド等に戻す予定です。
13	桜ヶ丘地区は基本的にフリーパスで誰でも入れるようになっている。夜の部活帰りなどはちょっと怖い感じがする。守衛さんとかいないのでセキュリティが不安。せめて防犯カメラくらいはつけてほしい。	医歯研学務課	防犯対応として、体育館横Fゲート側入口に防犯カメラを設置済み。
14	入学オリエンテーションがあつてすぐ次の日に履修届を出さなくてはならないが、選択科目は数日考える時間がほしい。	共通教育課	授業日数(授業15週、試験1週)を確保するために、授業開始日が以前に比べ早まっています。オリエンテーションから履修登録まで1日しかなく、選択科目を決める時間がないのは申し訳ないことと思います。 例年3月中旬に、共通教育センターでは新入生向けに履修計画の立て方やシラバスをホームページに掲載しています。予め確認していただければ、履修計画を立てる上での一助になるかと思えます。 また、4月中旬の履修変更日に履修変更の手続きは可能です。
15	必修科目の履修登録を自動化してほしい	共通教育課	履修申請システムの改修が令和2年3月に行われ、システム上は自動的に履修登録を行うことができるようになりました。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、1年生の共通教育科目の必修科目を自動登録しています。 来年度以降も同様の措置を取るかについては、履修申請の教育的な意義を考え、検討していく予定です。

## 学生からの意見等に対する対応等について

～令和元年度学長と学部新入生等との懇談会～

No.	事項	担当部局等名	意見等への対応状況
16	(自転車の数が多くてしょうがないことは承知の上で) たまに通れないくらい自転車が範囲外まで止められたりしているので改善してほしい。	学生生活課	駐輪マナーについて、巡回による注意の他、メール及び掲示で周知していきます。
17	初年次セミナーは半期にその内容を凝縮した方がいいのでは	共通教育課	令和2年度から、「初年次セミナー」では、従前のレポートの書き方、プレゼンテーションに加え、個別の現代的な課題やテーマに焦点化した教育内容(焦点化教育)を扱うこととなりました。焦点化教育は、倫理教育、知財教育、人権教育および消費者教育的な内容を含み、これらはすべて大学生として身につけておきたいとされるチューデントスキルといわれるものです。教育内容の充実を図っていますので、今のところは半期に凝縮することは考えておりません。